

女性、子ども、 マイノリティが輝く社会

みんなが等しく輝くために

コロナ禍で勤務時間を減らされたパート・アルバイトの女性の75.7%もが休業手当を受け取っていません。自殺者も昨年8月以来急増し、なかでも10月の女性の自殺者は82.8%も増加(前年同月比)。こどもの自殺も、昨年8月の女子中学生の自殺が前年同月の4倍、女子高校生は7.3倍に増加しているという驚くべき実態が報告されています。また、富山県の昨年1年間の自殺者の増加率が全国で最悪でした。女性・子ども・マイノリティなど社会の弱い立場にある人たちにしわ寄せがきています。

そうしたなかで、実効性のある「同一労働同一賃金」を求め「非正規差別撤廃、私たちはあきらめない」と裁判を含め取り組み続けている女性がいます。ヨーロッパでは、男女はもちろん勤務時間の長短による差別がほとんどない国が多くあります。日本において、差別をなくし、女性、子ども、マイノリティが輝く社会をどう実現していくのか、みなさんと考えてみたいと思います。



●講師紹介

竹信 三恵子

(たけのぶ・みえこ)さん

和光大学名誉教授。朝日新聞社東京本社経済部、編集委員兼論説委員(労働担当)などを経て2011年から和光大学現代人間学部教授・ジャーナリスト。2019年4月から現職。著書に「ルポ雇用劣化不況」(岩波新書 日本労働ペンクラブ賞)、「女性を活用する国、しない国」(岩波ブックレット)、「しあわせに働ける社会へ」(岩波ジュニア新書)、など。2009年貧困ジャーナリズム大賞受賞。



参加
無料

事前にお申し込み
ください

2021年

5/15 (土) 13:30~15:15
自治労とやま会館 3階 大会議室

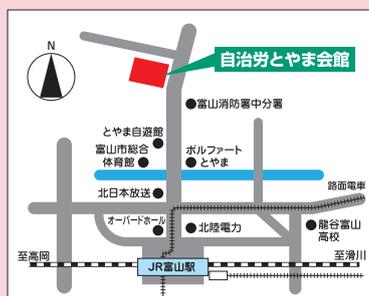
どなたでも自由にご参加いただけます。参加定員は40名。
参加を希望される方は、事前に主催者まで連絡をお願いします。
当日は、マスク等感染予防対策をお願いします。



お申し込み・問い合わせ先

公益社団法人
富山県地方自治研究センター

〒930-0804 富山市下新町8番16号
TEL (076) 441-0375 FAX (076) 441-1155
E-mail: jichiken-t@jcr-toyama.jp



●交通のご案内
徒歩 JR富山駅北口より15分
地鉄バス 興人団地行き双葉町下車
駐車場 80台収容(無料)